

研究タイトル	植物は音を感じるのか？ —振動と植物の生体電位の関係—
要旨	<p>本研究の目的は、植物が音刺激を生体電位の変化を通して明らかにすることである。昨年度、異なる周波数（無音、100 Hz、500 Hz、1600 Hz）が植物に与える影響を調査したが、生体電位に有意な差は見られず、この結果は早稲田大学の三輪敬之らの先行研究からも明らかであった。そこで今年は、同じ周波数（500 Hz）と音圧（70 dB）で、異なるリズム（無音、60 BPM、120 BPM、240 BPM）の音刺激を与え、生体電位と成長への影響を比較する。一定のリズム刺激下では、生体電位の周期的な変動が観察され、わずかに成長が促進される傾向が見られた。音が植物に与える影響を可視化することは、将来的に植物の状態や健康状態の改善に音を活用する可能性を秘めている。植物を非破壊的にその状態を可視化することで、これまで植物を育てたことのない人にも植物への興味を喚起することが期待され、農業人口の減少が顕著な昨今、非常に有用な技術となることが期待される。</p>